No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lar	記入レベル	繰返 回数 説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	junii2からの	マッピング
1 Title		タイトル	dc:title		TRUE	М	コンテンツのタイトル。論文の場合、論題である。コ 1-N テンツ本文と同じ言語のタイトル情報は必ず記入する タイトルの言語情報はxml:langに記入する。	の他のタイトル)に記入する。コンテンツが図書の一部(章 など)である場合、dc:title(タイトル)には章などのタイト ルを記入し、図書全体のタイトルはjpcoar:relation(関連)		xml:langの指定がない記入は推奨しない。 <dc:title>情報爆発時代の研究基盤構想</dc:title> 情報爆発時代の研究基盤構想 複数言語の並列表記は推奨しない。 <dc:title xml:lang="jaen">情報爆発時代の研究基盤構想 = Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dc:title> 収録物名を含めることは推奨しない。収録物名は jpcoar:sourceTitle (収録物名)を使用する。 <dc:title xml:lang="ja">NIIの概要(日本病院会雑誌)</dc:title> 同一言語指定の要素を繰り返してはならない。 <dc:title xml:lang="ja">情報爆発時代の研究基盤構想 </dc:title> <dc:title xml:lang="ja">データマイニング、次世代サーチなどの研究</dc:title>		タイトル	title
2 Alterr	native Title	その他のタイト ル	dcterms:alternative		TRUE	МА	O-N 目次タイトル、奥付タイトル等の本タイトル以外のタトルを記入する。	その他のタイトルか複数言語ある場合は、要素を繰り返して 記入する。各言語コードのdcterms:alternativeの出現回数に 制限はなく、複数回線り返して記入してよい。 本タイトルの パイ 別言語のタイトルはdc:title (タイトル) に記入する。 ヨミ様 書語情報をxml:lang="ja-Kana"とし <u>片板を記入する。</u> 片 仮名ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Kana"、ローマ字ヨミの 言語情報はxml:lang="ja-Latn"とする。また、ヨミを記入す る場合は一コミとは別にxml:lang="ia"の情報を必ず記入す	<dcterms:alternative xml:lang="ja">データマイニング、次世代サーチなどの研究</dcterms:alternative><dcterms:alternative xml:lang="ja-Kana">データ マイニング ジセダイ サーチ ナド ノ ケンキュウ</dcterms:alternative>	複数言語の並列表記は推奨しない。 <dcterms:alternative xml:lang="jaen">情報爆発時代の研究基盤構想 = Research Project on Cyber Infrastructure for Information-explosion Era</dcterms:alternative> 収録物名を含めることは推奨しない。収録物名は jpcoar:sourceTitle (収録物名) を使用する。 <dcterms:alternative xml:lang="ja">NIIの概要(日本病院会雑誌)</dcterms:alternative>		その他(別言語等)の タイトル	D alternative
3 Creat	or	作成者	jpcoar:creator	creatorType		О	コンテンツの作成に責任を持つ個人または団体等。	学位論文の場合は必ず入力する。複数の著者が存在する場合は、第一著者から順に記入する。コンテンツの作成に直接的 に関与した者を寄与者として明確に区別し、寄与者の役割であるcontributorTypeの統制 量に該当する役割を持つ者は寄与者として記入する。	cjpcoar:creator creatorType="者" > cjpcoar:cnameIdentifier nameIdentifierScheme="ORCID" nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003"> (cjpcoar:cnameIdentifierVRI="https://orcid.org/0000-0001-0002-0003") (cjpcoar:creatorName xml:lang="ja"> 夏日、漱石 cjpcoar:creatorName xml:lang="ja"> 夏日、漱石 cjpcoar:creatorName xml:lang="en"> Natsume, Soseki-/jpcoar:creatorName> < jpcoar:creatorName xml:lang="ja"> gel cjpcoar:familyName xml:lang="ja"> gel cjpcoar:familyName xml:lang="ja"> gel cjpcoar:familyName xml:lang="ja"> gel cjpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja"> gel cjpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja"> gel cjpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja"> gel cjpcoar:creatorAlternative xml:lang="na"> Natsume, Kinnosuke cjpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja"> sip < gel cjpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja"> sip < gel < cjpcoar:creatorAlternative cjpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja"> cjpcoar:creatorAlternative> < cjpcoar:affiliation> cjpcoar:affiliation				
3.1 Creat	or Name Identifier	作成者識別子	jpcoar:nameIdentifier	nameIdentifi erScheme nameIdentifi erURI	FALSE	MA MA	択したスキーマに依存する(例:0000-0001-0003- 0004(ORCID)、30413925(e- Rad_Researchers)、0000000378057894 (ISNI))。 nameIdentifierScheme にはID を識別するスキーマを以下の統制語彙から選択して記入する。・e-Rad・NRID・ORCID・ISNI・VIAF・AID・kakenhi・Ringgold・GRID。 nameIdentifierURIにはIDをHTTP URI形式で記入する。URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指しない(例: (NRID)https://orcid.org/0000-0001-0002-000(ORCID)http://isni.org/isni/00000000828497(ISNI)https://viaf.org/viaf/56614190	名 jpcoar:nameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、ID のみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。 定	<pre></pre> <pre><</pre>	jpcoar:nameIdentifierの値にURLを記入しない。 <jpcoar:nameidentifier <br="" nameidentifierscheme="orcid">nameIdentifierURI="https://orcid.org/0000-0002-3276- 3753">https://orcid.org/0000-0002-3276- 3753</jpcoar:nameidentifier>	e-Rad NRID (非推奨) ORCID ISNI VIAF AID kakenhi (非推奨) Ringgold GRID (非推奨) ROR	ID腐性	creator id
3.2 Creat	or Name	作成者姓名	jpcoar:creatorName		TRUE	МА	(VTAF)). 作成者の姓名を記入する。個人名の姓名の区切りは 「姓,△名」(カンマ+半角空白)とする。英語表記の O-N ファーストネームが不明な場合は頑文字でもよい。ミ ルネームがある場合は、「姓,△ミドルネーム△名」と 記入する。	ド 使用する。出版者はdc:publisher(出版者)を使用する。 🗕		langの指定がない記入は推奨しない。 <jpcoar:creatorname>夏目, 漱石</jpcoar:creatorname>		作成者	creator
				nameType	FALSE	R	O-1 名前の種別を記入する。姓名に機関名を記入する際は 「organizational(組織)」を選択する。				Organizational - 組織 Personal - 個人 (default)		
3.3 Famil	y Name	作成者姓	jpcoar:familyName		TRUE	0	可能な場合は記入する。	別 各言語コードのjpcoar:familyNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<jpcoar:familyname xml:lang="ja">夏目</jpcoar:familyname>				
3.4 Given	n Name	作成者名	jpcoar:givenName		TRUE	0	作成者の名を記入する。作成者が個人であり、名が判 0-N 可能な場合は記入する。ミドルネームがある場合は、 「ミドルネーム△呂」と記入する。 作成者に別名がある場合、その姓名を記入する。記述	各言語コートのJpcoar:givenNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<pre></pre> <pre>car:givenName xml:lang="ja">漱石</pre> /jpcoar:givenName>				
3.5 Creat	or Alternative	作成者別名	jpcoar:creatorAlternative		TRUE	0	 法および注意点はjpcoar:creatorName (作成者姓名 に準じる。各言語の出現回数は1回に限らず、複数記、 可能とする。) コミは言語情報をxml:lang="ja-Kana"とし庁仮名で記入す) スー 片仮名コミの言語情報はxml:lang="ia-Kana"。ロープ [©]	<jpcoar:creatoralternative xml:lang="ja">夏目, 金之助</jpcoar:creatoralternative> 「jpcoar:creatorAlternative xml:lang="en">Natsume, Kinnosuke 「jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja-Kana">ナツメ, キンノスケ 「jpcoar:creatorAlternative xml:lang="ja-Kana">ナツメ, キンノスケ				

No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lan L g	記入 ルベ 回		注意点	推奨例	非推奨例	語彙	junii2からの	マッピング
3.6	Affiliation	作成者所属	jpcoar:affiliation		- R	1-0	N 作成者の所属する機関名。		<pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre>ipcoar:nameIdentifier nameIdentifierScheme="ISNI" </pre> <pre>nameIdentifierURI="http://isni.org/isni/0000000121691048">0000000121691048</pre> <pre>/jpcoar:nameIdentifier</pre> <pre> Page 1 Page 2 Page</pre>				
3.6.1	Affiliation Name Identifier	所属機関識別子	jpcoar:nameIdentifier	nameIdentifi erScheme	FALSE R	+	https://ror.org/057zh3y96(ROR))。 nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーマ名を	jpcoar:nameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、ID のみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必 ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	<pre><jpcoar:affiliationname xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:affiliationname> <jpcoar:nameidentifier nameidentifierscheme="ISNI" nameidentifieruri="http://isni.org/isni/0000000121691048">0000000121691048 <pre> </pre></jpcoar:nameidentifier></pre>		kakenhi(非推奨) ISNI Ringgold GRID(非推奨) ROR		
				nameIdentifi erURI	FALSE R	0-1	https://ror.org/057zh3y96 (ROR)						
3.6.2	Affiliation Name	所属機関名	jpcoar:affiliationName		TRUE R	0-0	所属機関の名称を記入する。所属機関名の言語情報は xml:langに記入する。	略称ではなく、正式名称を記入する。記入は機関名までと し、部局名など下位階層の所属は記入しない。当該コンテン ツが作成された時点の所属機関を記入する。所属機関名が複 数言語ある場合は、本文言語と同じ言語の所属機関名を最初 に記入し、続いて別言語の所属機関名を繰り返して記入す る。各言語コードのjpcoar:affiliationNameの出現回数は1回 までとする。	<jpcoar:affiliationname xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:affiliationname>				
			jpcoar:contributor		- R	1-0	コンテンツの作成に間接的に関わりを持つ個人または回		sjpcoar:contributor contributor type= contributor special sequence special sequen				
4	Contributor	寄与者		contributorT ype	FALSE R	0-1	体等。contributorTypeには適切な役割を以下の統制語彙から選択して記入する。該当する役割がない場合は、 "other"を選択する。 - ContactPerson - DataCollector - DataCurator - DataManager Distributor - Editor - HostingInstitution - Producer - ProjectLeader - ProjectManager · ProjectMember - RelatedPerson - Researcher - ResearchGroup - Sponsor - Supervisor - WorkPackageLeader - Other				ContactPerson DataCollector DataCurator DataManager Distributor Editor HostingInstitution Producer ProjectLeader ProjectManager ProjectManager RelatedPerson Researcher ResearchGroup Sponsor Supervisor		
4.1	Contributor Name Identifier	寄与者識別子	jpcoar: contributorN nameIdentifier	nameIdentifi erScheme nameIdentifi	FALSE M	1	新今者を一悪に識別するID を記入する。記述力法は選択したスキーマに依存する (例: 0000-0001-0003-0004 (ORCID)、30413925 (e-Rad_Researchers)、0000000378057894 (ISNI))。 nameIdentifierScheme にはID を識別するスキーマ名を統制語彙から選択して記入する。 nameIdentifierURIにはIDをHTTP URI形式で記入する。 URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない (例: https://nrid.nii.ac.jp/nrid/1000030413925/((NRID) https://orcid.org/0000-0001-0002-0003	jpcoar:nameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、IDのみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。	Inversity / /incnar:contributorName > Siptember S	nameIdentifierの値にURLを記入しない。 <jpcoar:nameidentifier>https://orcid.org/0000-0002-3276 3753</jpcoar:nameidentifier>	e-Rad NRID (非推奨) ORCID ISNI VIAF AID kakenhi (非推奨) Ringgold GRID (非推奨) ROR	ID腐性	contributor id
4.2	Contributor Name	寄与者姓名	ipcoar:contributorName	erURI	TRUE R	O-N	(ISNI) https://viaf.org/viaf/56614190 (VIAF)) 寄与者の姓名を記入する。個人名の姓名の区切りは 「姓,△名」(カンマ+半角空白)とする。英語表記の ファーストネームが分からない場合は頭文字でもよい。 ミドルネームがある場合は、「姓,△ミドルネーム△	各言語コードのjpcoar:contributorNameの出現回数は1回ま でとする。肩書きや役割、補記は記入しない。著者や翻訳者 等のような直接的な役割の者はjpcoar:creator (作成者)を 使用する。出版者はdc:publisher (出版者)を使用する。ヨ	<jpcoar:contributorname xml:lang="ja">山田, 一部</jpcoar:contributorname> <jpcoar:contributorname xml:lang="en">Yamada, Ichiro</jpcoar:contributorname> <jpcoar:contributorname xml:lang="ja-Kana">ヤマダ, イチロヴ</jpcoar:contributorname>	xml:langの指定がない記入は推奨しない。 <jpcoar:contributorname>山田, 一郎 </jpcoar:contributorname>		寄与者	contributor
		~ > = 1.4. =	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	nameType	FALSE	R 0-	名」と記入する。 2前の種別を記入する。姓名に機関名を記入する際は forganizational(組織)」を選択する。	ミ は言語情報をxml:lang="ja-Kana"とし片仮名で記入する。 片仮名ヨミの言語情報はxml:lang="ja-Kana"、ローマ字ヨミ の言語情報はxml:lang="ja-Latn"とする。			Organizational - 組織 Personal (default) - 個人		
4.3	Family Name	寄与者姓	jpcoar:familyName		TRUE O	0-1	可能な場合は記入する。	各言語コードのjpcoar:familyNameの出現回数は1回までとする。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<jpcoar:familyname xml:lang="ja">山田</jpcoar:familyname>				
4.4	Given Name	寄与者名	jpcoar:givenName		TRUE O	0-1	寄与者の名を記入する。寄与者が個人であり、名が判別 1 可能な場合は記入する。ミドルペームがある場合は、 「ミドルネーム△名」と記入する。 寄与者に別名がある場合、その姓名を記入する。記述だ	る。日本語のヨミは記入しない。団体名は記入しない。	<jpcoar:givenname xml:lang="ja">一郎</jpcoar:givenname>				
4.5	Contributor Alternative	寄与者別名	jpcoar:contributorAlternative		TRUE O	0-0	法および注意点はjpcoar:contributorName(寄与者姓名)に準じる。各言語の出現回数は1回に限らず、複数記入可能とする。	ス					

No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属 xml:la	性 記/ an レハ	繰返回数	說明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	junii2からのマ	?ッピング
4.6 Affiliation		寄与者所属	jpcoar:affiliation		-	R	0-N	寄与者の所属する機関。		Special administrative Special administr				
4.6.1 Affiliation	Name Identifier	所属機関識別子	jpcoar:nameIdentifier	nameIdenti erScheme nameIdenti erURI	-	R M R	0-N 1 0-1	所画機関隊を一意に識別するIDを記入する。記述方法は 選択したスキーマに依存する (例: 00000012192178X (ISNI) <u>12601 (kakenhi)</u> https://ror.org/057zh3y96 (ROR)) nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーマ名を	jpcoar:nameIdentifierの値は接頭辞等の情報を付けず、ID のみを記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必 ずnameIdentifierSchemeにスキーマ名を指定する。			kakenhi(非推奨) ISNI Ringgold GRID(非推奨)		
4.6.2 Affiliation	Name	所属機関名	jpcoar:affiliationName	Croix	TRUE	E R	0-N	所属機関の名称を記入する。所属機関名の言語情報は xml:langに記入する。	路称ではなく、正式名称を記入する。 記入は機関名までと し、部局名など下位階層の所属は記入しない。当該コンテン 炒が作成された時点の所属機関を記入する。所属機関名が複 数言語ある場合は、本文言語と同じ言語の所属機関名を最初 に記入し、続いて別言語の所属機関名を繰り返して記入す	<pre><jpcoar:affiliationname xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:affiliationname></pre>		NOT		
5 Access Rig	ghts	アクセス権	dcterms:accessRights	rdf:resource		E MA		コンテンツのアクセス状態を記入する。以下の統制請彙から選択して記入する。 - embargoed access: エンバーゴ有 - metadata only access: メタデータのみ - open access: オーブンアクセス - restricted access: アクセス制限有。	コンテンツのフイゼン人に関する情報はGC: Ingnts (権利情 , 報) を参昭する。 [embargned access] の場合は、	<pre><dcterms:accessrights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_abf2">open access</dcterms:accessrights> <dcterms:accessrights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_f1cf">embargoed access</dcterms:accessrights> <dcterms:accessrights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_14cb">metadata only</dcterms:accessrights></pre>		embargoed access metadata only access restricted access open access		
6 APC		APC	rioxxterms:apc		FALS	ŧθ	0-1	オリジナルのコンテンツに関連するAPCの快趣。以下の 語彙から選択する。 Paid:支払済み Fully waived:全て免除 Not required:不要 Partially waived: 部免除 Not charged:無料 Unknown:不明	AP Cの価格は記入しない。	<ri>rioxxterms:apc>Paid</ri>	APCの価格は記入しない。 <rioxxterms:apc>\$3,000</rioxxterms:apc>	Paid Partially waived Fully waived Not-charged Not-required Unknown		
6 7 Rights		権利情報	dc:rights	rdf:resource					ライセンス情報は短縮形で記入しない。各言語コードの dc:rightsの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入し	<dc:rights rdf:resource="https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en" xml:lang="en">Creative Commons Attribution 4.0 International</dc:rights>	ライセンス情報を短縮形で記入しない。 <dc:rights <="" td="" xml:lang="en"><td>CHRIOWII</td><td>権利</td><td>rights</td></dc:rights>	CHRIOWII	権利	rights
7 8 Rights Ho	lder	権利者情報	jpcoar:rightsHolder			R	0-N	作成者および寄与者以外の著作権等の権利保持情報を記 入する。		<pre></pre> <pre><pre></pre><pre></pre><pre></pre><pre></pre><pre></pre><pre><pre></pre><pre></pre><pre></pre><pre></pre><pre></pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td></pre<></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre>				
			jpcoar:nameIdentifier		FALS	E R		権利者を一意に識別するID を記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する(例:0000-0001-0003- 0004 (ORCID)、30413925 (e-Rad)、 0000000378057894 (ISNI))。 nameIdentifierScheme にはID を識別するスキーマ名 を以下の統制語彙から選択して記入する。 - e-Rad - NRID - ORCID - ISNI - VIAF - AID - kakenhi -				2.1154		
7.1 8.1 Rights Ho	ilder Name Identifie	er 権利者識別子		nameIdenti erScheme	ifi FALS	E M	1	Ringgold - GRID。 nameIdentifierURIにはIDをHTTP URI形式で記入する。URIを特たない場合は、nameIdentifierURIは指定しない(例: https://nrid.nii.ac.jp/nrid/1000030413925/ (NRID) https://orcid.org/0000-0001-0002-0003 (ORCID) http://isni.org/isni/0000000082849737		<jpcoar:nameidentifier <br="" nameidentifierscheme="ISNI">nameIdentifierURI="http://isni.org/isni/0000004043815">0000000404381592</jpcoar:nameidentifier>		e-Kad NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi Ringgold		
				nameIdenti erURI	FALS	E R	0-1	(ISNI) https://viaf.org/viaf/56614190 (VIAF)) 。				Sixto		
7.2 Rights Ho	lder Name	権利者名	jpcoar:rightsHolderName		TRUE	E R	0-N	記述方法はjpcoar:creatorName(作成者姓名)に準じる。		<jpcoar:rightsholdername xml:lang="en">American Physical Society</jpcoar:rightsholdername>				1
8 9 Subject		主題	jpcoar:subject		TRUE	E MA	0-N	コンテンツの内容を表す件名、蓄者キーワード、分類を 記入する。分類はコードのみを記入する。 subjectSchemeは以下の語彙を使用する。 - BSH - DDC - e-Rad_field - LCC - LCSH - MeSH - NDC - NDLC - NDLSH - SciVal - UDC - Other。	分類の項目名は記入しない。著者キーワードの場合 subjectSchemeは*Other*を指定する。各言語コードの jpcoar:subjectの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。 府省共通研究開発管理システム (e-Rad) の研究分野	著者キーワードの例 <jpcoar:subject subjectscheme="Other" xml:lang="ja">情報化社会</jpcoar:subject> 片仮名コミ記入の例 <jpcoar:subject subjectscheme="Other" xml:lang="ja-Kana">ジョウホウカ シャカイ</jpcoar:subject> 効類コードの例 <jpcoar:subject subjectscheme="NDC">007</jpcoar:subject> 件名の例 <jpcoar:subject subjectscheme="NDLSH" subjecturi="https://id.ndl.go.jp/auth/ndlsh/01009109" xml:lang="ja">社会情報学</jpcoar:subject> 研究データの分野が「人文・社会」の例 <pre></pre>		DSH DDC	国立情報学研究所 メタ データ主題語彙集 日本十進分類法 国立国会図書館分類表 日本件名標目 国立国会図書館件名標 目表 医学件名標目表 デューイ十進分類法 米国議会図書館件名標 国際+進分類法 米国議会図書館件名標	NDLC BSH NDLSH MeSH DDC LCC UDC
				subjectSche me subjectURI	FALS	E MA	1 0-1	subjectURIにはIDの値をHTTP URI形式で記入する。 URIを持たない場合は、subjectURIは指定しない(例: https://id.ndl.go.jp/auth/ndlsh/00575529)。	(主): https://www.e- rad.go.jp/datasets/files/bunya_bunya.csv	<pre>sjpcoar:subject xml:lang="ja" subjectScheme="e-Rad_field">人文・社会く/jpcoar:subject> <jpcoar:subject subjectscheme="e-Rad_field" xml:lang="en">Humanities & Social Sciences</jpcoar:subject> 研究データの分野が「自然科学一般」の例 <jpcoar:subject subjectscheme="e-Rad_field" xml:lang="ja">自然科学一般</jpcoar:subject>Natural Science <jpcoar:subject subjectscheme="e-Rad_field" xml:lang="en">Natural Science</jpcoar:subject></pre>		e-Rad_field JEL LCC LCSH MeSH NDC NDLC NDLSH SciVal UDC Other		
			datacite:description	-		E MA		コンテンツの内容を示す情報を記述する。データについては、技術的な情報等、他の要素に当てはまらない追加情報を記入する。descriptionTypeには以下の統制類量	Idatacite descriptionを使用する場合。必ずdescription lyne	datacite:description xmi:lang="ja" descriptionType="Abstract">国立情報学研究所が提供する「共用リポシトリサービス」JAIRO Cloudは、いまやJAIRO Cloudを抜きに日本の機関リポシトリを語れないところまで普及している。本稿では、このJAIRO Cloudについて、主にそのシステム基盤の意義について論ずる。JAIRO Cloudのシステム基盤の精衛は維持継続が容易で条層件が高いことにある。JAIRO Cloudの特色を地域共同リポジトリなど都似のサー	pescription typeを省略してはならない。 国立情報学研究所が提供する「共用リボジトリサービス」JAIRO Cloudは、いまやJAIRO Cloudを抜きに日本の機関リボジトリを語れないところまで普及		内容記述 その他の資源識別子 情報源 資源タイプ	description identifier source type

No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属 xml:la	性 an レ	入 繰返 回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	junii2からの)マッピング
9 10	Description	内容記述		description ype	T FALS	ЕМ	1	から選択して記入する。論文の抄録の場合は"Abstract" を選択する。 - Abstract - Methods - TableOfContents - TechnicalInfo - Other	に制限はなく、複数回線り返して記入してよい。	ビスの比較により明らかにした上で、現在の取り組みを紹介していく。 ※例は以下の論文の抄録を使用 前田 朗, 加藤 寛士, 高橋 菜奈子, 山地 一領. システム基盤としてのJAIRO Cloud. 大学図書館研究. 2016, vol.103, p.9-15.	している。本稿では、このJAIRO Cloudについて、主にそのシステム基盤の意義について論ずる。JAIRO Cloudのシステム基盤の特徴は維持継続が容易で発展性が高いことにある。JAIRO Cloudの特色を地域共同リポジトリなど類似のサービスの比較により明らかにしたとて、現在の取り組みを紹介していく。 口版型は近人しない。	Methods TableOfContents		
10 11	Publisher	出版者	dc:publisher		TRUI	E MA	R 0-N	称を優先する。個人名については「姓,△名」とする。	の所属する組織にはjpcoar:affiliationを使用する。 役割等の 補助的な情報は記入しない。 各言語コードのdc:publisherの 出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<dc:publisher xml:lang="en">Elsevier</dc:publisher> <dc:publisher xml:lang="ja">日本物理学会</dc:publisher>	出版を記されていない。 ・dc:publisher>東京 ・dc:publisher>東京 ・dc:publisher>両倉印刷・/dc:publisher>機関の変連前名称等、同一言語での異なる表記を記述してはならない。 ・ない。 ・dc:publisher xml:lang="ja">日本建築学会 ・dc:publisher xml:lang="ja">と付 ・dc:publisher xml:lang="ja">と付 ・dc:publisher xml:lang="ja">と付 ・dc:publisher xml:lang="ja">と付 ・dc:publisher xml:lang="ja"		公開者	publisher
11	Publisher Information	出版者情報	jpcoar:publisher		-	C	O 0-N	コンテンツ本体を出版・公開した主体に関する情報を記 入する。		<pre><jpcoar:publisher> <jpcoar:publishername xml:lang="ja">酶ケ関出版</jpcoar:publishername> <jpcoar:publisherdescription xml:lang="ja">印刷</jpcoar:publisherdescription> <dcndl:location xml:lang="ja">東京</dcndl:location> <dcndl:publicationplace>JPN</dcndl:publicationplace> </jpcoar:publisher></pre>	Statistical annual and a second annual and a second annual and a second annual			
11.1	Publisher Name	出版者名	jpcoar:publisherName		TRUI	E () 0-N	コンデンツ本体を出版・公開した主体を記入する。 個人名の姓名の区切りは「姓,△名」(カンマ+半角空 白)とする。肩書きは記入しない。	略称ではなく止式名称を記入する。 作成者等の所属する組織にはjpcoar:affiliationを使用する。 役割等の補助的な情報はjpcoar:publisherDiscriptionに記入 する。 jpcoar:publisherDescription、dcndl:location、 dcndl:publicationPlaceを記入する場合は、本項目を入力す ることを推奨する。	<jpcoar:publishername xml:lang="en">Elsevier</jpcoar:publishername> <jpcoar:publishername xml:lang="ja">日本物理学会</jpcoar:publishername>	機関の変遷前名称等、同一言語での異なる表記を記述してはならない。 <jpcoar:publishername xml:lang="ja">日本建築学会 </jpcoar:publishername> <jpcoar:publishername xml:lang="ja">建築学会 </jpcoar:publishername>			
11.2	Publisher Description	出版者注記	jpcoar:publisherDescription		TRUI	E C	0-N	コンテンツの出版者に関して、付記事項がある場合に記 入する。	各言語コードのjpcoar:publisherDiscriptionの出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	<jpcoar:publisherdescription xml:lang="ja">FD刷</jpcoar:publisherdescription> <jpcoar:publisherdescription xml:lang="ja">PD · 五編</jpcoar:publisherdescription>				
11.3	Publication Place	出版地	dcndl:location		TRUI	E C	0-N	コンテンツ本体の出版地・頒布地を記述する場合に使用する。	国名コードはdcndl:publicationPlaceに記入する。 各言語コードのdcndl:locationの出現回数に制限はなく、複 数回繰り返して記入してよい。	<dcndl:location xml:lang="ja">東京</dcndl:location>	出版者を併記しない。 <dcndl:location xml:lang="ja">酸ケ関出版, 東京 </dcndl:location>			
11.4	Publication Place (Country code)	出版地(国名コード)	dcndl:publicationPlace		FALS	E	0-N	コンテンツ本体の出版地・頒布地を国名コードを記入する。 ISO 3166-1 alpha-3形式で記入する。	ISO 3166-1 alpha-3形式以外で記入しない。 言語コードを記入しない。 出版地に関する国名コード以外の情報はdcndl:locationに記 1 まっ	<dcndl:publicationplace>JPN</dcndl:publicationplace>				
12	Date	日付	datacite:date	dateType		E MA		コンテンツに関連する日付を記入する。日付はW3C Date and Time Formats ISO-8661 で規定する決か の3 形式(YYYY、YYYY-MM、YYYY-MM-DD、 YYYY-MM、YYYY-MM-DDThh:mm:SS.STZD、YYYY-MM-DDThh:mm:SS.STZD、YYYY-MM-DDThh:mm:SS.STZD)で記入する。し、日付の範囲は RKMS-ISO8601で規定する形式で記入する。dateType は以下の統制語彙から選択して必ず記入する。 Accepted - Available - Collected - Copyrighted - Created - Issued - Submitted - Updated - Valid	Ago	発行日 <datacite:date datetype="Issued">2015-10-01</datacite:date> エンパーゴ終了後の利用開始日 <datacite:date datetype="Available">2016-01-01</datacite:date> 日付の範囲がある場合 <datacite:date datetype="Collected">2004-03-02/2005-06-02</datacite:date>	dateTypeを省略してはならない。 <datacite:date>2015-10-01</datacite:date> 不明な年を記入してはならない。 <datacite:date datetype="Issued">19</datacite:date>	Accepted Available Collected Copyrighted Created Issued Submitted Updated	日付刊行年月日	date dateofissued
13	Date Literal	日付(リテラ ル)	dcterms:date		TRUI	E	O-N	コンテンツの作成、発行等のライフサイクルに関連する 日付をリテラルに記入する。 datacite:date (日付) には、統制された方法により記録された日付情報を記入する。本項目では、統制された方法で記入し、補完することができない情報をリテラルに記入し、補完することができる。	コンテンツの内容に関する時間的範囲は、	日刊の年号表示 <dcterms:date xml:lang="zh-tw">崇禎17</dcterms:date> 日付の範囲の年号表示 <dcterms:date xml:lang="ja">宝暦年間</dcterms:date> 干支等による表示 <dcterms:date xml:lang="ja">寛政壬子</dcterms:date> 不明な年	西暦紀年を補記する。 <dcterms:date xml:lang="ja">享和3 (1803)</dcterms:date>	Valid		新規要素追加
14 13	Language	言語	dc:language		FALS	E R	0-N	コンテンツ本文で用いられている主な言語を記入する。 ISO-639-3 言語コードで記入する。ISO-639-3 のマクロランゲージの使用は任意とする。	言語名を記入しない。国コードを記入しない。優先度の高い 言語の順に記入する。	Substitute	150 USP*Its版来のない。 〈dc:language>)a 1要素に複数の言語を記入しない。 〈dc:language>engjnr 大文字や全角文字を使用しない。 〈dc:language> JPN 〈dc:language> 〈dc:language> eng / dc:language> 〈dc:language> eng / dc:language> 言語名を記入しない。 〈dc:language> 日本語〈/dc:language> 国名を記入しない。 〈dc:language> JS 〈dc:language> lace記入しない。 〈dc:language> US 〈dc:language> ISO-639以外の規格の文字コードを記入しない。		震語	language
15 14	Resource Type	資源タイプ	dc:type	rdf:resourc	FALS	_	1	コンテンツの種類を資源タイプ語彙別表から選択して記入する。rdf:resourceには各統制語彙に対応するCOAR	departmental bulletin paper (紀要論文) およびarticle (記事) は、journal article (学術雑誌論文) のURIを記入する。	学術雑誌論文の例 <dc:type rdf:resource="http://purl.org/coar/resource_type/c_6501">journal article</dc:type>	dc:language> rdf:resourceを省略してはならない。 <dc:type>departmental bulletin paper</dc:type>	資源タイプ語彙別表参照	NII資源タイプ	NIItype
16 15	Version	バージョン情報	datacite:version				0-1	データの更新に伴うパージョン番号を記入する。"メ ジャーパージョン番号"、"マイナーパージョン番号"の形 式で記入することが望ましい。	テータの場合のみ使用する。ハージョンの変更がある場合 は、記入が望ましい。メジャーパージョン変更の際には新し いコンテンツとして扱い、別途メタデータレコードを作成す る。その際にはjpcoar:relation (間連情報) に旧パージョン との関係性を記述する。論文のパージョン情報については oaire:version (出版タイプ)を使用する。	<datacite:version>1.2</datacite:version>	/「一ジョンに番号以外の文字列を記入してはならない。 <datacite:version>ver 1.2</datacite:version>			
17 16	Version Type	出版タイプ	oaire:version	rdf:resourc			0-1	識又のパーション内戦を記入する。以下の総制語葉から 選択して記入する。 - AO: Author's Original - SMUR: Submitted Manuscript Under Review - AM: Accepted Manuscript - P: Proof - VOR: Version of Record - CVOR: Corrected Version of Record - EVOR: Enhanced Version of Record - NA: Not Applicable (or Unknown) rdf:resourceには各統制語彙に対応するCOAR Version のIRTを記入する。	論文の場合、必ず記入する。データのパージョン情報につい てはdatacite:version (パージョン情報) を使用する。	著者最終稿(査読後、最終的に出版社に受理された原稿)の場合 <oaire:version rdf:resource="http://purl.org/coar/version/c_ab4af688f83e57aa">AM</oaire:version> 出版社版の場合 <oaire:version rdf:resource="http://purl.org/coar/version/c_970fb48d4fbd8a85">VoR</oaire:version>		AO SMUR AM P VoR CVoR EVOR NA	著者版フラグ	textversion

No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属t xml:lar g	生 記入 n レベ ル	繰返回数	說明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	junii2からの	マッピング
18 17	Identifier	識別子	jpcoar:identifier	identifierTyp	FALSE FALSE		1-N	コンテンツを職別するユニーフはIDVを配入する。配述方法は選択したスキーマに依存する(例: https://doi.org/10.18926/AMO/54590 (DOI) http://hdl.handle.net/2115/64495 (HDL) http://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/ja/54559 (URI))。identifierTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。 - DOI - HDL - URI	リボシトリコンテンツの自身のIDを記入する。学術雑誌論文の出版社版等のDOIはjpcoar:relation(関連情報)に記入する。JALC DOIを登録する場合は、jpcoar:identifierだけではなく、jpcoar-identifierRegistration(IR登録・IDIII 列D登録)に登録するDOIを"prefix/suffix"形式で記入する。detacitejpcoar:identifierを記入する際には場合、必ずidentifierTypeを指定する。			DOI HDL	資源識別子URI JaLCDOI	URI selfDOI
19 18	Identifier Registration	ID登録	jpcoar:identifierRegistration	identifierTyp	FALSE	MA	1	には登録するサービス(DOIの場合はRegistration Agency)を以下の統制語彙から選択して記入する。 -	リボジトリコンテンツの自身のIDはjpcoar:identifier (識別子) に記入する。"JaLC"または"Crossref"を選択した場合、junii2スキーマのselfDOIに相当する。JaLCでDOIを登録する場合は、jpcoar:identifierRegistrationだけではなく、jpcoar:identifier (識別子) identifierType="DOI"にDOIを	<pre><jpcoar:identifierregistration identifiertype="JaLC">10.18926/AMO/54590</jpcoar:identifierregistration></pre>	URIスキーム"info:doi/"、"doi:"は使用してはならない。 <jpcoar:identifierregistration identifiertype="JaLC">info:doi/10.1594/WDCC/CCSRNIES SRES_B2</jpcoar:identifierregistration> DOIのURL表記は使用してはならない。	URI JaLC Crossref DataCite PMID(現在不使用)	JaLCDOI RA属性	selfDOI
20 19	Relation	関連情報	jpcoar:relation	relationType	- FALSE	R	0-N	登録するコンテンツと関連するコンテンツ間の関連性を 記入する。relationTypeには以下の統制語彙から選択し て記入する。該当する語彙がない場合はrelationTypeを 記入しない。 - inSeries - isCitedBy - Cites - isVersionOf - hasVersion - isPartOf - hasPart - isReferencedBy - references - isFormatOf - hasFormat - isReplacedBy - replaces - isRequiredBy - requires - isSupplementTo - isSupplementedBy - isIdenticalTo - isDerivedFrom - isSourceOf	シリーズ名を有するコンテンツで、シリーズタイトルにリン クする場合は、relationType="isPartOf"を使用する。共通の 特徴を有するデータセットシリーズに属するコンテンツで、 データセットシリーズにLV-ヴェス当場では relationType=	宇宙地域の日本版を開から出版化ルベラクラの場合		inSeries isCitedBy Cites isVersionOf hasVersion isPartOf hasPart isReferencedBy references isFormatOf hasFormat isReplacedBy replaces isRequiredBy requires isSupplementTo isSupplementedBy isIdenticalTo isDerivedFrom isSourceOf	異類版である 異類版 である 高 置 強 性 から ない はい	isVersionOf hasVersion isReplacedBy replaces isRequiredBy requires isPartOf hasPart isReferencedB y references isFormatOf hasFormat
20.1 19:1		関連識別子	jpcoar:relatedIdentifier	identifierTyp e		: M	1	2(DOI))。identifierTypeには以下の統制語彙から 選択して記入する。 - ARK - arXiv - CRID - DOI - HDL - ICHUSHI - ISBN - J- GLOBAL - Local - PISSN - EISSN - ISSN 【非推奨】 - NAID 【非推奨】 - NCID - PMID 【現在不使用】 - PURL - SCOPUS - URI - WOS	対象に識別子が存在する場合は記入が望ましい。機例子が存在したい場合はjpcoar:relatedTitle(関連名称)を記入する。jpcoar:relatedIdentifierを記入しる場合は、必須。identifierType="NCID"には収録物以外のNCIDを記入し、収録物のNCIDを記入し、収録物のNCIDはpcoar:sourceIdentifier(収録物識外子)を使用する。identifierTypeに"ISSN"を設けるが、原則使用しない。PISSNまたはEISSNの判別が困難な場合に限って使用する。	identifierType="DOI">https://doi.org/10.1371/journal.pone.0170224		ARK arXiv CRID DOI HDL ICHUSHI ISBN J-GLOBAL Local PISSN EISSN EISSN ISSN (非推奨) NAID (非推奨) NCID PMID (非推奨) PURL SCOPUS URI	ISBN PubMed番号 DOI NII論文ID 書誌レコードID (総名 目録DB) 医中誌ID	ichushi
20.2 19.2	Related Title	関連名称	jpcoar:relatedTitle		TRUE	R	0-N	関連するコンテンツのタイトルを記入する。	連識別子)に記入する。該当する識別子が存在しない場合に は必ずのみ記入する。各言語コードのjpcoar:relatedTitleの 出現回数は1回までとする。	<jpcoar:relatedtitle xml:lang="ja">バイリンガル育成を目指した中高大、日本人院生、外国人院生のティーム ティーチングによる支援</jpcoar:relatedtitle>			他の資源との関係範囲	relation
21 20	Temporal	時間的範囲	dcterms:temporal		TRUE	0	()-N	コンテンツの内容の時間的範囲を記入する。 所定のス キーマに従って記入することが望ましい。	各言語コードのdcterms:temporalの出現回数に制限はなく、 複数回線り返して記入してよい。	<dcterms:temporal xml:lang="ja">奈良時代</dcterms:temporal> <dcterms:temporal xml:lang="en">A.D. 1800 - A.D. 1850</dcterms:temporal>			時間的 国立情報学研究所メタ データ主題語彙集(時 代)	

No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lan g	シベル	業返 回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	junii2からのマッピング
22 21	Seo Location	位置情報	datacite:geoLocation		-	O 0-	コンデンツ 的情報を記	ツを収集した、またはコンテンツの内容の空間 記入する。		<adatacite:geolocation> <datacite:westboundlongitude>-71.032</datacite:westboundlongitude> <datacite:westboundlongitude>-68.211 <datacite:southboundlatitude>41.090</datacite:southboundlatitude> <datacite:northboundlatitude>42.893</datacite:northboundlatitude> 地名を記述する例 </datacite:westboundlongitude></adatacite:geolocation>			
22.1										<a e-rad_funder"="" funderidentifiertypeuri="https://www.e-rad.go.jp/datasets/files/haibunkikan.csv" href="datacite:geoLocationP</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>21.1</td><td>Seo Location Point</td><td>位置情報(点)</td><td>datacite:geoLocationPoint</td><td></td><td>FALSE</td><td><math>\vdash</math></td><td></td><td>ツが指す空間の一点を記入する。
。10進数で表す。範囲は-180~180で、正の</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>21.1.1
21.1.1</td><td>oint Longitude</td><td>経度</td><td>datacite:pointLongitude</td><td></td><td>FALSE</td><td><math>\vdash</math></td><td>値は東部を</td><td></td><td>datacite:geoLocationPointを使用する場合は必須。</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>21.1.2 P</td><td>oint Latitude</td><td>緯度</td><td>datacite:pointLatitude</td><td></td><td>FALSE</td><td>M 1</td><td>は北部を表</td><td></td><td>datacite:geoLocationPointを使用する場合は必須。</td><td><datacite:geoLocationBox></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>22.2
21.2</td><td>Seo Location Box</td><td>位置情報(空間)</td><td>datacite:geoLocationBox</td><td></td><td>FALSE</td><td>O 0-</td><td>-1 コンテンツ</td><td>ツが指すボックス状の空間的範囲を記入する。</td><td></td><td><pre><datacite:gestestationabx> <datacite:westBoundLongitude>-71.032</datacite:westBoundLongitude> <datacite:eastBoundLongitude>-68.211</datacite:eastBoundLongitude> <datacite:southBoundLatitude>41.090</datacite:southBoundLatitude> <datacite:northBoundLatitude>42.893</datacite:northBoundLatitude> </datacite:qeoLocationBox></pre></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>22.2.1 v</td><td>Vest Bound Longitude</td><td>西部経度</td><td>datacite:westBoundLongitude</td><td></td><td>FALSE</td><td>M 1</td><td></td><td>の値。10進数で表す。範囲は-180〜180で、
東部を表す。</td><td>datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。</td><td>, butter que butter a butter a</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>22.2.2
24.2.2</td><td>ast Bound Longitude</td><td>東部経度</td><td>datacite:eastBoundLongitude</td><td></td><td>FALSE</td><td>M 1</td><td>東部経度の</td><td>来かせなり。
の値。10進数で表す。範囲は-180~180で、
東部を表す。</td><td>datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>22.2.3 S</td><td>South Bound Latitude</td><td>南部緯度</td><td>datacite:southBoundLatitude</td><td></td><td>FALSE</td><td>M 1</td><td></td><td>の値。10進数で表す。範囲は-90〜90で、正の</td><td>datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>22.2.4
N</td><td>lorth Bound Latitude</td><td>北部緯度</td><td>datacite:northBoundLatitude</td><td></td><td>FALSE</td><td>M 1</td><td>北部緯度0</td><td>の値。10進数で表す。 範囲は-90〜90で、正</td><td>datacite:geoLocationBoxを使用する場合は必須。</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>21.2.4</td><td>Geo Location Place</td><td>位置情報(自由記述)</td><td>datacite:geoLocationPlace</td><td></td><td>FALSE</td><td>O 0-</td><td></td><td>部を表す。 ツが指す地理上の地点の名称を記入する。</td><td>-</td><td><datacite:geoLocationPlace>Disko Bay</datacite:geoLocationPlace></td><td></td><td></td><td>空間的
国立情報学研究所メタ
データ主題語彙集(地
MIIspatial</td></tr><tr><td>F</td><td>runding Reference</td><td>助成情報</td><td>jpcoar:fundingReference</td><td></td><td></td><td>MA 0-</td><td>た助成金竹</td><td>ツ作成の際に研究助成を受けた場合は、利用し情報を記入する。</td><td></td><td> sipcoar:funderIdentifier funderIdentifierType ="> 1020 sipcoar:funderIdentifier> sipcoar:funderName xml:lang="ja"> 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) sipcoar:funderName xml:lang="en"> Japan Science and Technology Agency (JST) sipcoar:fundingStreamIdentifier fundingStreamIdentifierType="JGN_fundingStream"> MJBF			
23.1 22.1	under Identifier	助成機関識別子		funderIdenti ierType	if FALSE		る。 統制語彙 - Crossr 0-1 - e-Rac	ref Funder d_funder	Crossref Funder IDまたは資金配分機関コード(e-Rad_funder)の使用を推奨する。 Crossref Funder ID、e-Rad資金配分機関がない場合に限り、その他の識別子を記入する。 (参考) 主な助成機関識別子: https://www.e-rad.go.jp/datasets/files/haibunkikan.csv	<jpcoar:funderidentifier funderidentifiertype="e-Rad_funder" funderidentifiertypeuri="https://www.e-rad.go.jp/datasets/files/haibunkikan.csv"> 1020 </jpcoar:funderidentifier> Crossref Funderの例 1020 Crossref Funder 1020 Crossref Funder 1020 1020 1020 1020 1020 1020 1020 1020 1020 1020 1020 1020 1020 1020 1020 1020 1020 1020 1020 1020 <a href="</td"><td></td><td>Crossref Funder e-Rad_funder GRID - 非推奨 ISNI ROR Other</td><td></td>		Crossref Funder e-Rad_funder GRID - 非推奨 ISNI ROR Other	
23.2 22.2	under Name	助成機関名	jpcoar:funderName	ierTypeURI	TRUE	M 1-	- GRID -N 助成機関等	等、助成を行った主体の名称を記入する。	jpcoar:fundingReferenceを記入する場合は、必須。 略称ではなく、正式名称を記入する。 各言語コードのjpcoar:funderNameの出現回数は1回までと する。	funderIdentifierTypeURI="https://www.crossref.ora/services/funder-registry/"> <pre> igoar:funderName xml:lang="ja"> igoar:funderName xml:lang=ja"> <pre> <pre> <pre> <pre> ipoar:funderName xml:lang="en"></pre></pre></pre></pre></pre>			
		プログラム情報	jpcoar:fundingStreamIdentifier	fundingStrea mIdentifierT			0-1 各資金配分	分機関内の助成カテゴリ(助成制度・事業等)	Crossref Funder Registryは、組織(上位)>組織(下位)> >プログラム情報>・・・のように階層化登録されているため、プログラム情報に該当する識別子を記入する。 例) 文科省: http://dx.doi.org/10.13039/501100001700 >JST: https://doi.org/10.13039/501100002241 >ムーンショット型研究開発制度(JST):	Crossref Funderの場合 <jpcoar:fundingstreamidentifier fundingstreamidentifiertype="Crossref Funder"> https://doi.org/10.13039/501100020963 </jpcoar:fundingstreamidentifier> 体系的器号におけるプログラム情報コードの場合		Crossref Funder	
23.3 F	unding Stream Identifier	識別子		ype	ALSE			を記入する。	https://doi.org/10.13039/501100020963	**spicoar:fundingStreamIdentifier fundingStreamIdentifierType="JGN_fundingStream"> MJBF		JGN_fundingStream	

No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lan	記入レベル	繰返回数	說明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	junii2からの	マッピング
				fundingStrea mIdentifierT ypeURI	FALSE	0	0-1		https://www.nistep.go.jp/archives/53002) の「機関コード」と「施策・事業の特定コード」を合わせたもの(例・科学技術振興機構(JST)のムーンショット型研究開発事業は、機関コードMJ、施策・事業の特定コードMSを合わせた「MJMS」を入力する)	<pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre>#ipcoar:fundingStreamIdentifier fundingStreamIdentifierType="JGN_fundingStream" fundingStreamIdentifierTypeURI="https://www.nistep.go.jp/archives/53002"></pre>		Crossref Funder: https://www.crossref.org/sei ices/funder-registry/	r <u>v</u>	
23.4 Fu	unding Stream	プログラム情報	jpcoar:fundingStream		TRUE	0	0-N	各資金配分機関内の助成力デゴリ(助成制度・事業等) の名称を記入する。		<pre><jpcoar:fundingstream xml:lang="en"> Belmont Forum </jpcoar:fundingstream></pre> /jpcoar:fundingStream> <pre><jpcoar:fundingstream xml:lang="ja">ムーンショット型研究開発事業</jpcoar:fundingstream></pre> /jpcoar:fundingStream>				
23.5 22.3 Av	ward Number	研究課題番号	datacite:awardNumberjpcoar:awardNu	awardURI awardNumb	FALSE FALSE			研究課題番号を文字列で記入する。記述方法は助成団体 による(例:15H02781 (科研費))。awardURIは、 助成団体が提供している当該の助成に関する詳細情報を HTTP URI形式で記入する。科研費の場合は、KAKEN データベースの該当するベージのURLを記入する。		<pre><jpcoar:awardnumber awardnumbertype="JGN" awarduri="https://doi.org/10.52926/JPMJBF1801"> JPMJBF1801 </jpcoar:awardnumber> <datacite:awardnumber awarduri="http://cordis.europa.eu/project/ren/100603_en.html">284382</datacite:awardnumber> <jpcoar:awardnumber awardnumbertype="JGN">JPxxxxxxx</jpcoar:awardnumber></pre>		JGN - 体系的課題番号 (Japan		
23.6 22.4 Av	ward Title	研究課題名	jpcoar:awardTitle	erType	TRUE	MA	0-N	研究課題名を文字列で記入する。	各言語コードのjpcoar:awardTitleの出現回数は1回までとする。	</td <td></td> <td>Grant Number)</td> <td></td> <td></td>		Grant Number)		
24 23 So	ource Identifier	収録物識別子	jpcoar:sourceIdentifier	identifierTyp e	FALSE		0-N 1	収録物に付与された識別子を記入する。記述方法は選択 した識別子に依存する。identifierTypeには以下の統制 語彙から選択して記入する。 - PISSN - EISSN - ISSN (非推奨) - NCID	(お)pcoar:relatedIdentifier (関連無例子)を使用する。 junii2下位互換用の簡彙としてidentifierTypeに"ISSN"を設け るが、原則使用しない。PISSNまたはEISSNの判別が困難な 場合に限って使用する。	singar-sourceIdentifier identifierTyne="PISSN">1234-5678		PISSN EISSN ISSN (非推奨) NCID	ISSN 書誌レコードID(総合 目録DB)	issn NCID
25 24 So	ource Title	収録物名	jpcoar:sourceTitle		TRUE	MA	0-N	コンデンツの収録物のタイトルを記入する。	し、各言語コードのtitleの出現回数は1回までとする。言語表記ごとの繰り返しにする場合は、優先度の高い言語表記の順に記入する。	<pre><jpcoar:sourcetitle xml:lang="ja">看護総合科学研究会誌</jpcoar:sourcetitle> <jpcoar:sourcetitle xml:lang="en">Journal of Comprehensive Nursing Research</jpcoar:sourcetitle></pre>	収録物名の略称は推奨しない。 <jpcoar:sourcetitle xml:lang="en">Annu Rev Biochem</jpcoar:sourcetitle>		雑誌名	jtitle
26 25	olume Number	巻	jpcoar:volume		FALSE	МА	0-1	収録物の巻レベルを記入する。単位を表す語句 (「巻」、「vol」、「号」、「年」など)は記入しな い。巻号と通号の両者が存在する場合は、巻号を採用す る。	号または適号のみをもつ場合は、巻レベルとし、 jpoar:volumeに記入する。アラビア数字以外の数字表記に よるものは、アラビア数字に変換する。アラビア数字に変換 できない場合は、そのまま転記する。 号または適号のみをもつ場合は、巻レベルとし、	<jpcoar:volume>1</jpcoar:volume>			巻	volume
27 26 Iss	sue Number	号	jpcoar:issue		FALSE	MA	0-1	収録物の号レベルを記入する。単位を表す語句 (「号」、「issue」など)は削除する。	jpcoar:volumeに記入する。アラビア数字以外の数字表記に よるものは、アラビア数字に変換する。アラビア数字に変換 できない場合は、そのまま転記する。号レベルより下位のレ ベルが存在する場合でも(例えばvolume3、issue2、part1 等の場合)、その下位レベルについては記入しない。	<jpcoar:issue>1</jpcoar:issue>			号	issue
29	umber of Pages age Start		jpcoar:numPages jpcoar:pageStart		FALSE			コンテンツの総ページ数を記入する。 コンテンツの収録物中における開始ページを記入する。 開始ページと終了ページが同じ場合は、 jpcoar:pageEndにも同様の値を記入する。巻 (volume) の通ページと、号 (issue) ごとのページの 両方が存在する場合は、巻 (volume) の通ページを記 入する。	アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に 変換する。	<pre></pre>			開始ページ	spage
30 29 Pa	age End	終了ページ	jpcoar:pageEnd		FALSE	MA	0-1	コンテンツの収録物中における終アページを記入する。 開始ページと終アページが同じ場合は、 jpcoar:pageStartと同様の値を記入する。巻 (volume) の通ページと、号 (issue) ごとのページの 両方が存在する場合は、巻 (volume) の通ページを記 入する。		<jpcoar:pageend>12</jpcoar:pageend>			終了ページ	epage
31 30	issertation Number	学位授与番号	dcndl:dissertationNumber		FALSE	МА	0-1	学位授与番号を記入する。	はなく報告番号を記入する。	<dcndl:dissertationnumber>甲第5384号</dcndl:dissertationnumber>	科研費機関番号(数字5桁) + [申>A 乙>B 他>Z] +報告番号 の形式、(junii2 ver 3.0) は推奨しない。 <dcndl:dissertationnumber>15301A5384</dcndl:dissertationnumber> 科研費機関番号(数字5 桁) + [甲 乙] + 第十報告番号 + 号の形式 (junii2 ver 3.1) は推奨しない。 <dcndl:dissertationnumber>15301甲第5384号 </dcndl:dissertationnumber>		学位授与番号	grantid
32 31	egree Name	学位名	dcndl:degreeName		TRUE	МА	0-N	入する。	学位規則改正(2013年4月1日)以降に授与された博士論文 を登録する場合は必須。国際流通を鑑み、英語名称を合わせ て記入することを推奨する。各言語コードの dcndl:degreeNameの出現回数は1回までとする。	<dcndl:degreename xml:lang="en">Doctor of Philosophy in Letters</dcndl:degreename> <dcndl:degreename xml:lang="ja">博士(文学)</dcndl:degreename>			学位名	degreename
33 32 Da	ate Granted	学位授与年月日	dcndl:dateGranted		FALSE	МА	0-1	学位授与年月日を記入する。日付はISO-8601 で規定する次の 3 形式 (YYYY-MM-DD、YYYY-MM、YYYY) で記入する。	学位規則改正 (2013年4月1日) 以降に授与された博士論文 を登録する場合は必須。	<dcndl:dategranted>2016-03-25</dcndl:dategranted>			学位授与年月日	dateofgranted
34 33	egree Grantor	学位授与機関	jpcoar:degreeGrantor		-	МА	0-N	学位授与機関の情報を記入する。	共同大学院の場合は、学生の箱がある大学を最初に配入し、繰り返して記入する。	<pre><jpcoar:degreegrantor> <jpcoar:nameidentifier nameidentifierscheme="kakenhi">32653</jpcoar:nameidentifier> <jpcoar:degreegrantorname xml:lang="ja">東京女子医科大学</jpcoar:degreegrantorname> </jpcoar:degreegrantor> <jpcoar:degreegrantor> <jpcoar:nameidentifier nameidentifierscheme="kakenhi">32689</jpcoar:nameidentifier> <jpcoar:degreegrantorname xml:lang="ja">早稲田大学</jpcoar:degreegrantorname></jpcoar:degreegrantor></pre>	共同大学院をひとつのjpcoar:degreeGrantorに記入することは指 要しない。 <jpcoar:degreegrantor> <jpcoar:nameidentifier nameIdentifierScheme="kakenhi">3265332689 <jpcoar:degreegrantorname xml:lang="ja">東京女子医科大学早稲田大学</jpcoar:degreegrantorname></jpcoar:nameidentifier </jpcoar:degreegrantor>	1		
\vdash			jpcoar:nameIdentifier		FALSE	MA	0-N				/ipcoar:degreeGrantor>			\pm

No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属f xml:lar g	挂 記入 n レベ ル	繰返回数	設明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	junii2からのマ	マッピング
	Degree Grantor Name Identifier	学位授与機関識 別子		nameIdentifi erScheme	i FALSE	М	1	学位授与機関を一意に識別する科研費機関番号を記入する。jpcoar:nameIdentifierを記入する場合、必ずnameIdentifierSchemeには"kakenhi"を記入する。	学位規則改正 (2013年4月1日) 以降に授与された博士論文 を登録する場合は、学位授与機関の科研費機関番号の記入が 必須。	<pre><jpcoar:nameidentifier nameidentifierscheme="kakenhi">15301</jpcoar:nameidentifier></pre>		e-kau NRID ORCID ISNI VIAF AID kakenhi ISNI Ringgold		
34.2 33.2	Degree Grantor Name	学位授与機関名	jpcoar:degreeGrantorName		TRUE	MA	0-N	学位授与機関の名称を記入する。学位授与機関名の言語 情報はxml:langに記入する。	学位規則改正 (2013年4月1日) 以降に授与された博士論文 を登録する場合は必須。略称ではなく、正式名称を記入す る。各書語コードのjpcoar:degreeGrantorNameの出現回数 は1回までとする。	<pre><jpcoar:degreegrantorname xml:lang="ja">同山大学</jpcoar:degreegrantorname> <jpcoar:degreegrantorname xml:lang="en">Okayama University</jpcoar:degreegrantorname></pre>		(aKII)	学位授与機関	grantor
35 34	Conference	会議記述	jpcoar:conference		-	R	0-N	会議情報を記入する。	学位規則改正 (2013年4月1日) 以降に授与された博士論文 を登録する場合は必須。略称ではなく、正式名称を記入す	<pre></pre> <pre><pre></pre> <pre><pre></pre> <pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre><pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre>				
35.1	Conference Name	会議名	jpcoar:conferenceName		TRUE	R	0-N	会議名を記入する。	各言語コードのjpcoar:conferenceNameの出現回数は1回までとする。	STITUTE OF THE PROPERTY OF T				
35.2 34-2	Conference Sequence	回次	jpcoar:conferenceSequence		FALSE	R	0-1	会議の回次を記入する。	アラビア数字以外の数字表記によるものは、アラビア数字に変換する。	<jpcoar:conferencesequence>7</jpcoar:conferencesequence>				†
35.3	Conference Sponsor	主催機関	jpcoar:conferenceSponsor		TRUE	R	0-N	会議を主催する機関名を記入する。	会議の開催会場はjpcoar:conferenceVenueに記入する。	<pre></pre> <pr< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td></pr<>				
35.4 34.4	Conference Date	開催期間	jpcoar:conferenceDate	startDay	TRUE	R	0-1	会議の開催期間について、開始年月日および終了年月日 を年(YYYY)、月(MM)、日(DD)の形式で各属性 に、表示用の開催期間を値に記入する。 機械可誘可能な日付(属性)と表示用の開催期間(値)	までとする。 会議の開催が1日のみの場合は、属性のstartDayとendDayに	<jpcoar:conferencedate endday="04" endmonth="03" endyear="2016" startday="29" startmonth="02" startyear="2016" xml:lang="en">February 29th to March 4th, 2016 (jpcoar:conferenceDate xml:lang="en" startDay="29" startMonth="02" startYear="2016" endDay="04" endMonth="03" endYear="2016" endDay="04" endMonth="03" startYear="2016" endDay="04" endMonth="03"</jpcoar:conferencedate>		startDay startMonth startYear endDay endMonth endYear		
				startMonth startYear				の両方を記入することが望ましいが、いずれかの情報し かない場合は一方のみを記入する。		endYear="2016" />				
				endDay endMonth	FALSE	MA	0-1			<jpcoar:conferencedate xml:lang="en">February 29th to March 4th, 2016</jpcoar:conferencedate>				
				endYear		MA			会議の主催機関はjpcoar:conferenceSponsorに記入する。					
35.5 34.5	Conference Venue	開催会場	jpcoar:conferenceVenue		TRUE	R	0-N	会議が開催された会場を記入する。	1	<jpcoar:conferencevenue xml:lang="en">Hitotsubashi Hall</jpcoar:conferencevenue>				
35.6 34.6	Conference Place	開催地	jpcoar:conferencePlace		TRUE	R	0-N	会議の開催地を記入する。	会議の開催国はjpcoar:conferenceCountryに記入する。各 言語コードのjpcoar:conferencePlaceの出現回数は1回まで とする。	<pre><jpcoar:conferenceplace xml:lang="en">Tokyo</jpcoar:conferenceplace></pre>				
35.7 34.7	Conference Country	開催国	jpcoar:conferenceCountry		FALSE	R	0-1	会議の開催国を記入する。 ISO 3166-1 alpha-3形式で記入する。	ISO 3166-1 alpha-3形式以外で記入しない。	<pre><jpcoar:conferencecountry>JPN</jpcoar:conferencecountry></pre>				
36	Edition	版	dcndl:edition		TRUE	0	0-N	主に図書資料の版に関する情報を記入する。	論文のパージョン情報についてはoaire:version(出版タイプ)、データのパージョン情報についてはdatacite:version (パージョン情報)を使用する。	- 般音報の例 <dcndl:edition xml:lang="ja">改訂新版</dcndl:edition> 和古書の例 <dcndl:edition xml:lang="ja">宮城野の一部を改刻した改題本</dcndl:edition> 漢籍の例 <dcndl:edition xml:lang="ja">萬曆34年序重刻本の翻刻</dcndl:edition>				
37	Volume Title	部編名	dcndl:volumeTitle		TRUE	0	0-N	l .	場合は要素を繰り返して、それらを全て収める。 部編名の一部に書誌的巻数を記述することを許容する。 原本の巻次・部編番号と、デジタル化した単位で付与された 巻次・部編番号の記載が混在する可能性があるが、双方許容	<dcndl:volumetitle xml:lang="ja">近畿.△2 三重・和歌山・大阪・兵庫</dcndl:volumetitle> <dcndl:volumetitle xml:lang="ja-Kana">キンキ.△2 ミエ ワカヤマ オオサカ ヒョウゴ</dcndl:volumetitle>				
38	Original Language	原文の言語	dcndl:originalLanguage		FALSE	0	0-N	コンデンツ本文が翻訳・翻案等で原文がある場合、その原文で用いられている主な言語を記入する。 ISO-639-3 言語コードで記入する。ISO-639-3 のマクロランゲージの使用は任意とする。	仮製資料の場合は、仮製の対象となった資料の言語ではな く、翻訳・翻案等に対する原文の言語を記入する。	<dcndl:originallanguage>eng</dcndl:originallanguage>	ISO 639-1は推奨しない。 <dcndl:originallanguage>ja</dcndl:originallanguage> 1要素に複数の言語を記入しない。 <dcndl:originallanguage>engjpn</dcndl:originallanguage> 大文字や全角文字を使用しない。 <dcndl:originallanguage>JPN</dcndl:originallanguage> <dcndl:originallanguage> e n g </dcndl:originallanguage> 言語名を記入しない。 <dcndl:originallanguage>日本語</dcndl:originallanguage> 国名を記入しない。 <dcndl:originallanguage>日本語</dcndl:originallanguage> IBO-639以外の規格の文字コードを記入しない。 <dcndl:originallanguage>en_US</dcndl:originallanguage>			
39	Extent	大きさ	dcterms:extent		TRUE	0	0-N	情報資源の大きさ、付属資料等の、形態に関する情報を リテラルに記入する。	デジタル化資料のメタデータ記述には、原資料の大きさと個別ファイルの容量の両方が存在する可能性がある。個別ファイルの付けてにいてはサイズ(jpcoar:extent)に記入する。 物理的な記録形式については物理的形態(jpcoar:format)に記入する。 付属資料を記載する際は「本体の記述△+△付属資料の記述」とする。	図販ありの場合 <dcterms:extent xml:lang="ja">図販△;△19cm</dcterms:extent> 1枚もの資料、模長の場合 <dcterms:extent xml:lang="ja">1枚△;△92×172cm</dcterms:extent> 付属資料(CD-ROM)ありの場合 <dcterms:extent xml:lang="ja">22cm△+△CD-ROM1 枚(12cm)</dcterms:extent>				

No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lan	記入レベル	繰返回数	説明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	junii2からの	マッピング
40 Ph	nysical Format	物理的形態	jpcoar:format		TRUE	0	0-N	情報資源の物理的な記録形式をリテラルに記入する。	最大出現回数は定めす、一つの資料が複数の情報を持つ場合、それらを全て収める。 コンテンツの大きさや付属資料等は、大きさ (dcterms:extent) を使用する。 コンテンツのファイル形式はjpcoar:mimeType (ファイル形式) を使用する。	<dcterms:format>折本</dcterms:format> <dcterms:format>費物</dcterms:format> <dcterms:format>帙入</dcterms:format> <jpcoar:holdingagent></jpcoar:holdingagent>				
41 Ho	olding Agent	所蔵機関	jpcoar:holdingAgent		-	0	0-1	当該情報資源または原本を保有する所蔵機関を記入する。		<pre><jpcoar:holdingagentnameidentifier nameidentifierscheme="ROR">https://ror.org/057zh3y96<!--/pre-->/jpcoar:holdingAgentNameIdentifier> </jpcoar:holdingagentnameidentifier></pre> <pre><jpcoar:holdingagentname xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:holdingagentname></pre> /jpcoar:holdingAgentName> <pre></pre>				
	olding Agent Name lentifier	所蔵機関識別子	jpcoar:holdingAgentNameIdentifier		FALSE	0	0-1	所蔵機関を一意に識別するIDを記入する。記述方法は選択したスキーマに依存する (例:000000012192178X (ISNI)、https://ror.org/057zh3y96 (ROR))。 nameIdentifierSchemeにはIDを識別するスキーマ名を以下の統制語彙から選択して記入する。 - kakenhi 【非推奨】 - ISNI - Ringgold - GRID 【非推奨】 - ROR - FANO - ISIL - MARC - OCLC。nameIdentifierURIにはIDの値をHTTP URI形式 (例:	を付けず、IDのみを記入する。	<pre><jpcoar:holdingagentnameidentifier nameidentifierscheme="ROR">https://ror.org/057zh3y96</jpcoar:holdingagentnameidentifier></pre>		Kakenni (非推奨) ISNI Ringgold GRID (非推奨) ROR FANO ISIL MARC OCI C		
				nameIdentifi	FALSE	М	1	https://isni.org/isni/000000121691048 (ISNI) https://ror.org/057zh3y96 (ROR))で記入する。						
				erScheme nameIdentifi	i FALSE	0	0-1	URIを持たない場合は、nameIdentifierURIは指定しな						+
				erURI	FALSE	0	0-1	U\s	略称ではなく、正式名称を記入する。記入は機関名までと					
41.2 Ho	olding Agent Name	所蔵機関名	jpcoar:holdingAgentName		TRUE	0	0-N	所属機関の名称を記入する。所属機関名の言語情報は xml:langに記入する。	し、部局名など下位階層の所属は記入しない。所属機関名が 複数言語ある場合は、本文言語と同じ言語の所属機関名を最 初に記入し、続いて別言語の所属機関名を繰り返して記入す る。各言語コードのjpcoar:holdingAgentNameの出現回数 は1回までとする。	<jpcoar:holdingagentname xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:holdingagentname>				
42 Da	ataset Series	データセットシ リーズ	jpcoar:datasetSeries		FALSE	0		共通の特徴を有するデータセットの集合体である場合に Trueを設定する。データセットシリーズに属するアイテ ムからデータセットシリーズにリンクする場合は jpcoar:relation (関連情報) OrelationType= "inSeries"を用いる。データセットシリーズからデータ セットシリーズに属するアイテムにリンクする場合は jpcoar:relation (関連情報) OrelationType= "hasPart"を用いる。	データセットとはデータの集合体を意味するが、デジタル アーカイブ等で見られる単一のデータについてもデータセッ トとみなし、その共通的特徴を有する集合体を表現するもの としてデータセットシリーズを使用できる。	<jpcoar:datasetseries>True</jpcoar:datasetseries>		True False		
43 35	le	ファイル情報	jpcoar:file		-	МА	0-N	コンテンツ本体に関する情報。		<pre> <pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre></pre>				
			jpcoar:URI		FALSE	MA	0-1			ZARCOZERIAS			本文フルテキストへの	fullTextURL
43.1 35.1 UF	RI	本文URL		objectType				コンテンツ本体ファイルのURIを記入する。 objectTypeには以下の統制語彙から選択して記入する。 - abstract - dataset - summary - fulltext - software - thumbnail - other labelはファイルをがある場合、記入する。labelには、ファイルの内容や種類等を端的に記入する。	objectTypeはURIがある場合は必須。博士論文の場合、要約 はsummary、要旨はabstractを使用する。 論文に付随する補足データ等はdatasetを使用する。	<pre><jpcoar:uri label="70_5_331.pdf" objecttype="fulltext">http://ousar.lib.okayama- u.ac.jp/jpcoar:files/public/5/54590/20161108092537681027/70_5_331.pdf </jpcoar:uri> <jpcoar:uri label="supplemental data" objecttype="dataset">http://xxx.xxx.xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx</jpcoar:uri></pre>		abstract - 抄録・要旨 dataset - データセット fulltext - 全文 iiif - IIIFマニフェストURI software - ソフトウェア summary - 要約 thumbnail - サムネイル other - その他	リンク	
\vdash				label	FALSE	0	0-1	コンテンツのファイル形式を記入する。IANA に登録さ						
43.2 35.2 Fil	le Format	ファイルフォー マット	jpcoar:mimeType		FALSE	R		れている MIME メディアタイプから選択することを推 奨する。	テンツの分量はjpcoar:extent(サイズ)を使用する。	<pre><ipcoar:mimetype>application/pdf <jpcoar:mimetype>application/zip</jpcoar:mimetype></ipcoar:mimetype></pre>	MIMEメディアタイブ以外の形式で記入してはならない。 <jpcoar:mimetype>pdf</jpcoar:mimetype>		フォーマット	format
43.3 35.3	ze Extent	サイズ	jpcoar:extent		FALSE	0	0-N	ファイルサイズ、分量等の情報を記入する。自由記述。 但し数値はアラビア数字を半角で記入する。	論文の開始ページはjpcoar:pageStart (開始ページ) 、終了ページはjpcoar:pageEnd (終了ページ) を利用する。	<pre><jpcoar:extent>3MB</jpcoar:extent></pre>				
43.4 Da	ate	日付	datacite:date	4.1.**			0-N	コンテンツに関連する日付を記入する。日付はW3C	dcterms:accessRights(アクセス権)で "embargoed	発行日	dateTypeを省略してはならない。			1
35.4		-		dateType	FALSE	М	1	Date and Time Formats ISO-8601 -で規定する 次の 3	access"を指定し、コンテンツ本体の単位でエンバーゴ期間が データの場合のみ使用する。バージョンの変更がある場合	<pre><datacite:date datetype="Issued">2015-10-01</datacite:date></pre>	<datacite:date>2015-10-01</datacite:date>			+
43.5 35.5	ersion	バージョン情報	datacite:version		FALSE	0	0-1	データのバージョン情報。コンテンツの更新に伴うバージョン番号を記入する。"メジャーバージョン番号""マイナーバージョン番号"の形式で記入することが望ましい。	は、記入が望ましい。メジャーパージョン変更の際には新しいコンテンツとして扱い、別途メタデータレコードを作成する。その際にはjpcoar:relation (関連情報) に旧パージョンとの関係性を記述する。コンテンツ全体のパージョン情報についてはdatacite:version (パージョン情報) またはoaire:version (比原タイプ)を使用する。	<datacite:version>1.2</datacite:version>				

No	項目名	項目名 (日本語)	要素名	属性	言語属性 xml:lan a		繰返 回数	說明	注意点	推奨例	非推奨例	語彙	junii2からのマッピング
44 Catalog		カタログ	jpcoar:catalog		FALSE	0	0-1 ログ ティ	・タルアーカイブ等のデータベース単位の情報(カタ //情報)を記入する。IRDB利用機関は「コミュニ サポート by JPCOAR and NII」にカタログ情報を まする。		* Sp.Cuan Exactably **			
			jpcoar:contributor		FALSE	МА	O-N			objectTvpe="thumbnail">https://xxx.xxx.xxx/xxx/thumbnail.jpg			
44.1 Hosting	Institution	提供機関	jpcoar.coma ibacor	contributorT	FALSE	R	0-N デー	-タベースの提供機関情報を記入する。		<pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre>contributorName xml:lang="ja">東京大学</pre> <pre>/jcoar:contributorName></pre>		HostingInstitution	
44.1.1 Hosting	Institution Name	提供機関名	jpcoar:contributorName	ype	TRUE		0-1 1-N デー	-タベースの提供機関名を記入する。		<pre><jpcoar:contributorname xml:lang="en">The University of Tokyo</jpcoar:contributorname></pre>		Hostingtrisutudori	
44.1.1 Hosting	Institution Name	延州城内石	jpcoar:identifier		FALSE	MA		-ダハースの症状機関石を記入する。 -タベースを提供するURI等を記入する。記述方法は					
44.2 Identifie	er	識別子		identifierTyp		l l		Rしたスキーマに依存する(例:		<pre><jpcoar:identifier identifiertype="URI">https://da.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/portal/</jpcoar:identifier></pre>		DOI	
				e	FALSE	М		os://doi.org/10.18926/AMO/54590 (DOI) o://hdl.handle.net/2115/64495 (HDL)				HDL	
44.3 Title		タイトル	dc:title		TRUE	МА	0-N デー	- タベースの各称を記入する。	名称が複数言語ある場合は、要素を繰り返して記入する。ただし、各言語コードのdc:titleの出現回数は1回までとする。 ド仮名ヨミの言語情報はxml:lang="ja-kanar"、ローマ字ヨミの言語情報はxml:lang="ja-latn"とする。また、ヨミを記入する場合はコミとは別にxml:lang="ja"の情報を必ず記入する。	<dc:title xml:lang="ja">東京大学学術資産等アーカイブズボータル</dc:title> <dc:title xml:lang="ja-Kana">トウキョウダイガクガクシュツシサントウアーカイブズボータル</dc:title> <dc:title xml:lang="en">UTokyo Academic Archives Portal</dc:title>	xml:langの指定がない記入は推奨しない。 <dc:title>東京大学学術資産等アーカイブズボータル</dc:title> 複数言語の並列表記は推奨しない。 <dc:title xml:lang="jaen">東京大学学術資産等アーカイブズ ボータル = UTokyo Academic Archives Portal</dc:title>		
			datacite:description		TRUE	MA	0-N デー	-タベースの内容を示す情報を記述する。		<datacite:description descriptiontype="Other" xml:lang="ja">東京大学学術資産等アーカイブズボータルは、</datacite:description>		Abstract	
44.4 Descript	ion	内容記述		descriptionT ype	FALSE	М	1 する	criptionTypeには以下の統制語彙から選択して記入 5。 - Abstract - Methods - TableOfContents - hnicalInfo - Other	datacite:descriptionを使用する場合、必ずdescriptionType を指定する。各書語コードのdatacite:descriptionの出現回数 に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	「東京大学デジタルアーカイブズ構築事業」により構築されたボータルサイトです。当事業によりデジタル化された 資料だけでなく、これまで学内の様々な部局が個別にデジタル化し公開してきたコレクションを、横断的に検索する ことができます。		Methods TableOfContents TechnicalInfo Other	
			jpcoar:subject		TRUE	MA	0-N					BSH	
44.5 Subject		主題		subjectSche me	FALSE	М	はコ 彙を 1 NDC sub URI	- タベースの内容を表す件名、分類を記入する。分類 ロードのみを記入する。subjectSchemeは以下の語 は使用する。 - BSH - DDC - LCC - LCSH - MeSH - C - NDLC - NDLSH - SciVal - UDC - Other。 ojectURIにはIDの値をHTTP URI形式で記入する。 を持たない場合は、subjectURIは指定しない(例: bs://id.ndl.go.jp/auth/ndlsh/00575529)。	分類の項目名は記入しない。各言語コードのjpcoar:subject の出現回数に制限はなく、複数回繰り返して記入してよい。	ジャパンサーチにおけるカテゴリの例 <jpcoar:subject subjectscheme="Other">書籍等</jpcoar:subject> 分類コードの例 <jpcoar:subject subjectscheme="NDC">007</jpcoar:subject> 併名の例 <jpcoar:subject <br="" subjectscheme="NDLSH" xml:lang="ja">subjectURI="https://id.ndl.go.jp/auth/ndlsh/01009109">社会情報学</jpcoar:subject>		DDC e-Rad LCC LCSH MeSH NDC NDLC NDLSH SciVal UDC	
				subjectURI	FALSE	MA	0-1	が明日に明まるミブルトラオルについて、ラブトラ		三 / わ、7 体紀 たり] オ 2 担 △ (Crookin Communi		and the same of th	
44.6 License		ライセンス	jpcoar:license	licenseType	FALSE	М	の正 1 Com スに	CURIがある場合、rdf:resourceにHTTP URI形式で	ライセンス情報は短縮形で記入しない。	ライセンス情報を記入する場合 (Creative Commons) <jpcoar:license licensetype="metadata" rdf:resource="https://creativecommons.org/publicdomain/zero/1.0/deed.en" xml:lang="en">Creative Commons CC0 1.0 Universal</jpcoar:license>	ライセンス情報を短縮形で記入しない。 <jpcoar <br="" license="" licensetype="metadata" xml:lang="en">rdf:resource="https://creativecommons.org/publicdomain/z ero/1.0/deed.en">CCO</jpcoar>	file metadata thumbnail	
			dc:rights	rdf:resource	FALSE	R R		、し、再利用の条件を明示することを推奨する(例: 3所有権や著作権等に関する権利情報を記入する。ラ	各言語コードのdc:rightsの出現回数に制限はなく、複数回線		a. c, a.c, according according to the same		
44.7 Rights		権利情報		rdf:resource	FALSE	R	0-1 イセ	ンス情報はjpcoar:licenseに記入する。自由記述と	り返して記入してよい。	<dc:rights xml:lang="ja">著作権の帰属はコレクションによって異なる</dc:rights>			
44.8 Access	ights	アクセス権	dcterms:accessRights	rdf:resource	FALSE	MA M	0-1 量か ンバ み	・グハースのアクセス状態を記入する。 以下の統領語 から選択して記入する。 - embargoed access: エ ーゴ有 - metadata only access: メタデータの - open access: オープンアクセス - restricted ess: アクセス制限有。	データベースのライセンスに関する情報はdc:rights(権利情報)を参照する。	<pre><dcterms:accessrights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_nght/c_abt2">open access</dcterms:accessrights> <dcterms:accessrights rdf:resource="http://purl.org/coar/access_right/c_f1cf">embargoed access</dcterms:accessrights> <dcterms:accessrights></dcterms:accessrights></pre>		embargoed access metadata only access restricted access open access	
44.9 Thumbr	nail	代表画像	jpcoar:file		FALSE	0	0-1 デー	-タベースの代表画像の情報を記入する。		<pre><jpcoar:file><jpcoar:uri< pre=""></jpcoar:uri<></jpcoar:file></pre>			
		代表画像URI	jpcoar:URI	+	FALSE	0	0-1			objectType="thumbnail">https://xxx.xxx.xxxxxxxxx/xxx/thumbnail.jpg			
44.9.1 Thumbr	nail URI	TV衣画像UKI		objectType	FALSE	MA	0-1	-タベースの代表画像のURIを記入する。		<pre><jpcoar:uri objecttype="thumbnail">https://xxx.xxx.xxx/xxx/thumbnail.jpg</jpcoar:uri></pre>		thumbnail	